

責任投資原則(PRI)への署名について

国家公務員共済組合連合会(理事長 松元崇)は、2024年3月15日、責任投資原則(Principles for Responsible Investment、以下「PRI」)の署名機関となりました。

PRIにおいて、環境や社会全体に利益をもたらす持続可能な国際金融システムの達成を目指し、機関投資家等が環境(E:Environment)、社会(S:Society)、ガバナンス(G:Governance)の課題を投資の意思決定に組み込むことが提唱されています。

当会は、従前より、運用受託機関による投資先企業やその事業環境等に関する深い理解のほか投資戦略に応じて、持続可能性に配慮したエンゲージメントなどを軸にしたスチュワードシップ活動を含め、ミーティングなどを通じてモニタリングを行ってきました。引き続き、これらの取り組みをより一層推進すると共に、受益者の利益のために、長期的な観点から安全かつ効率的な運用に努めてまいります。

Signatory of:



[PRI 6つの原則]

1. 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに ESG の課題を組み込みます
2. 私たちは、活動的な所有者となり所有方針と所有習慣に ESG の課題を組み入れます
3. 私たちは、投資対象の主体に対して ESG の課題について適切な開示を求めます
4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います
5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します
6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します